



エンジン・マネジメントをば
いじり、電脳化が進むクルマの世
界において、ポツシユの名称はか
せない存在。自動車機器サプライヤ
ーとして、多くのメーカー電子制
御部品を供給する緑の力持ちた
その豊富なノウハウと大量のデー
タを元にした、電脳化時代の最先端
自動車診断システムがある。全国に
広がるポツシユ特約店「ポツシユ・
カー・サービス」が実施する、ポツ
シユ診断と呼ばれるものである。

最大の特徴は、最新鋭の診断機器
(電子工具)を用いてクルマを診る
こと。昔ながらの五感を使う点検に
加えて、コンピュータでリアルタイ
ム解析するイメージである。基準とな
るデータは年に何度もバージョンア
ップが繰り返され、メカニックはB
ST(ボッシュ・システム・テクニ
シヤ)という資格制度により鍛錬
される。鍛石の体制というわけだ。
現在、正規ディーラー、プロショ
ップの一部ではシステム診断がなさ
れているが、ほとんどが単一メーカ
ーのみだろう。ポツシユならほぼす
べてのメーカーに対応できる。

ポツシユ診断は160以上にわた
る点検項目をチェックし、そのため
に必要なデータをテストや各種計
測器から収集する。そこから直ちに
修理が必要なもの、半年後に再命を
迎える部品、次の車検に交換すべき
消耗品など、故障が否かだけでなく、
部品寿命までわかってしまう。その
結果を見てユーザーが交換、修理す
るかを判断する。ユーザーにクルマ
の正確な状態を知らせてくれるとい
うわけだ。計測器のひとつには人間
の五感が含まれる。決して機械に頼
りっぱなしというわけではない。
このポツシユ診断には、それまで
使われていたコントロールユニット
診断機に加えて、新たにFSAと呼
ばれる装置が導入された。これによ
り、既存のインフラでは計測が難し
い、種々な情報を瞬時把握するこ
ができるようになった。例えば、ダイ
レク・イグニッション車の各気筒
に流れる電流、電圧を測ることで、
トラブルシューテ
ィングを行う。既
存点検では不可
能な部分である。



現在→未来のコンディションを回答

次世代型の診断プラットフォーム

BOSCH VEHICLE SYSTEM ANALYZER FSA740

これらの診断機器は96年以降に世
界標準化された点検規格(OBD-II)
を採用したクルマに対応できる。その
範囲を外れてもポツシユ・マイスタ
ーによる車両診断は可能だ。愛車の
正確な状態を把握し、長く安心して
正確を保ちたいなら、ぜひポツシユ
診断をお勧めしたい。



OB20規格を採用する
近年のクルマは、FSA
と呼ばれる診断規格が
利用される。コネクタ
一つで、エンジン・コ
ントロールユニット
コイル、オイルレベ
ルゲージにセンサーを
当てるだけで、画面上
にすべての状態が映し
出される。トラブルシ
ュティンクに費やす時
間が短くなるというこ
とは、当然ながら工賃
の削減にもつながる。



ポツシユシステム・
テクニシヤン
柴本信博さん

ライトウェイトで工
場長を務める柴本さん。
整備士の免許を
取得したのも、ポツ
シユ・システム・テ
クニシヤンへ就職
した。今で経験値を
活かして診断機器を
使いこなす。彼の手
にかければどんなク
ルマも丸裸である。

SHOP DATA

BCSショップ ライトウェイト
〒139-0705 長野県塩尻市に近野村568-3
TEL:0262-31-2606 http://www.lightweight.jp/

BCS(ポツシユ・カー・サ
ービス)を展開する整備工場は
全国に広がるが、長野県塩
尻市にあるのがライトウェ
イト。ロータカースの正用テ
ィンクカーを擁する他、ヒス
トリックカーの整備もお手
の、中部地方の精練の存在だ。

